

同音異義語・同訓異字（200問） 解答

中学受験 国語（語彙）

名前 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

文の中のカタカナを漢字にしたとき、文に合うものを下の4つから選んで書きましょう。

1 「仏だんに花をソナえる」 供える＝神や仏にささげる／備える＝前もって用意する	供える
2 「大学で学問をオサめる」 修める＝学問や技を身につける／治める＝しずめる・政治をする	修める
3 「大地震にソナえる」 備える＝前もって用意する／供える＝神仏や人に差し出す／具える＝身にそなわっている	備える
4 「夏休みの間、校庭をカイホウする」 開放＝開けはなす・だれでも出入りできるようにする／解放＝ときはなす	開放
5 「学級会の司会をツトめる」 務める＝役目を引き受けて行う／勤める＝勤め先で働く	務める
6 「毎朝早く起きるようにツトめる」 努める＝力をつくす・努力する／務める＝役目を果たす	努める
7 「カイシンの笑みをうかべる」 会心＝思いどおりにいって満足すること／改心＝悪い心を改めること	会心
8 「計画をもう一度ケントウする」 検討＝よいか悪いかを、よく調べて考えること／見当＝だいたいの見こみ	検討
9 「胃や腸は食べ物を消化するキカンだ」 器官＝生物の体で、決まったはたらきをする部分／気管＝のどから肺へ空気を通す管	器官
10 「父は市役所にツトめる」 勤める＝勤め先で働く／務める＝役目を引き受ける／努める＝努力する	勤める
11 「試合で勝利をオサめる」 収める＝手に入れる・中に入れる／納める＝お金や品物をわたす／治める＝しずめる・政治をする／修める＝身につける	収める
12 「毎年、税金をオサめる」 納める＝お金や品物を、受け取る所へわたす／収める＝手に入れる・中に入れる	納める
13 「天地ソウゾウの神話を読む」 創造＝新しいものを初めてつくり出すこと／想像＝頭の中で思いうかべること	創造
14 「この薬はかぜによくキく」 効く＝ききめがある／利く＝十分にはたらく（気が利く）／聞く＝耳で感じる	効く
15 「会長になるようたのまれたが、コジした」 固辞＝かたくことわること／固持＝かたく持ち続けること	固辞
16 「この旅館は、海にノゾむ高台に建っている」 臨む＝向かい合う（海に臨む）・その場に出る（試合に臨む）／望む＝ねがう・遠くをながめる（海を望む）	臨む
17 「殿様が国をオサめる」 治める＝乱れをしずめる・政治をする／修める＝学問などを身につける	治める
18 「作家が新しい本をアラワす」 著す＝本を書いて世に出す／表す＝気持ちなどを示す	著す
19 「体調が悪いので、出場をジタイする」 辞退＝すすめられたことなどをことわること／事態＝物事のなりゆき	辞退
20 「鏡に自分の姿をウツす」 映す＝鏡・水面・画面などに姿をあらわす／写す＝書き写す・写真にとる	映す

21	「手洗いをしてエイセイに気をつける」 衛生＝体を清潔にして病気を防ぐこと／衛星＝惑星のまわりを回る星	衛生
22	「混乱した事態をシュウシュウする」 収拾＝混乱をおさめること／収集＝集めること	収拾
23	「早起きのシュウカンを身につける」 習慣＝くり返すうちに身についたこと／週間＝七日間／週刊＝毎週発行すること	習慣
24	「何が起きたのか、ケントウがつかない」 見当＝だいたいの見こみ／検討＝よく調べて考えること／健闘＝よくがんばって戦うこと	見当
25	「お坊さんが命の大切さをトク」 説く＝わかるように話して聞かせる／解く＝ほどく・答えを出す／溶く＝液体にまぜてとかす	説く
26	「決勝で強い相手にヤブれる」 敗れる＝勝負に負ける／破れる＝紙や布がさける・こわれる	敗れる
27	「やさしい問題から先に解く」 易しい＝かんたんだ／優しい＝思いやりがある	易しい
28	「毎朝そうじをする姿にカンシンした」 感心＝りっぱだと深く心を動かされること／関心＝興味を持つこと	感心
29	「植物が成長するカテイを観察する」 過程＝物事が進んでいく道すじ／課程＝学校で学ぶ内容と順序／仮定＝かりに決めること	過程
30	「このなぞを一日で解くのはヨウイではない」 容易＝たやすいこと／用意＝前もって準備すること	容易
31	「会社が新しい社員を十人トる」 採る＝人を選んでやとう・集める／撮る＝写真をうつす／捕る＝つかまえる	採る
32	「かけ算の答えをアヤマる」 誤る＝まちがえる／謝る＝わびる	誤る
33	「国民の生活をホショウする制度」 保障＝地位や権利・生活が守られるようにする／保証＝まちがいないと請け合う	保障
34	「劇団のコウエンを見に行く」 公演＝劇や音楽を人前で演じること／講演＝大勢の前で話をする／後援＝うしろだてになって助けること	公演
35	「胃や腸などのナイゾウのはたらき」 内臓＝胃・腸など体の中の器官／内蔵＝内部に持っていること	内臓
36	「この時計は小さな電池をナイゾウしている」 内蔵＝内部に持っていること／内臓＝体の中の器官	内蔵
37	「池のマワりを三周走る」 周り＝ものをとりまく所（池の周り）／回り＝回ること・順番	周り
38	「旅のとちゅうで、客船が横浜にキコウした」 寄港＝船がとちゅうで港に立ち寄ること／帰港＝出発した港に帰ること	寄港
39	「二つの作品をタイショウして読む」 対照＝くらべ合わせること／対象＝相手・目標／対称＝図形などがつり合っていること	対照
40	「トウトい神様をまつる神社」 尊い＝うやまうべきだ（尊い神）／貴い＝ねうちが高い（貴い体験）	尊い

41	「兄は有名な画家にシジしている」 師事＝先生として仕えて教えるを受けること／支持＝賛成して助けること／指示＝指図すること	師事
42	「このままでは負けはヒッシだ」 必至＝必ずそうなること／必死＝死にものぐるい	必至
43	「乗りこした運賃を駅でセイサンする」 精算＝細かく計算して、不足分などをはらう／清算＝貸し借りなどのけりをつける	精算
44	「いくつもの駅をへる」 経る＝時がたつ・ある所を通る／減る＝少なくなる	経る
45	「はたで美しい布をオる」 織る＝糸を組み合わせて布を作る／折る＝曲げる	織る
46	「型紙に合わせて、はさみで布をタつ」 裁つ＝布や紙を型に合わせて切る／断つ＝切りはなす・やめる	裁つ
47	「転んで大けがをオう」 負う＝背中にのせる・引き受ける・身に受ける／追う＝あとから行く	負う
48	「会社の利益をツイキュウする」 追求＝目的のものを追い求める／追究＝深く調べて明らかにする／追及＝責任などを問いつめる	追求
49	「宇宙のなぞをツイキュウする」 追究＝学問などで、深く調べて明らかにしようとする／追求＝追い求める	追究
50	「わかりやすい例をアげる」 挙げる＝示す・行う／上げる＝高い所へ移す／揚げる＝油で調理する・高くかかげる	挙げる
51	「電話の声に雑音がマじる」 混じる＝まざって区別がつかなくなる／交じる＝まざっても区別がつく（漢字にかなが交じる）	混じる
52	「失敗した友だちをきびしくセめる」 責める＝あやまちをとがめる／攻める＝戦いをしかける	責める
53	「けがが日ましにカイホウに向かう」 快方＝病気がけがが、よくなっていくこと／介抱＝病人の世話をすること	快方
54	「かけっこの時間を時計でハかる」 計る＝時間や数を数える／測る＝長さや深さ／量る＝重さやかさ	計る
55	「思いもよらない大変なジタイになった」 事態＝物事のなりゆき・ようす／辞退＝ことわること	事態
56	「みんなの意見を聞いて、計画をサイコウする」 再考＝もう一度考え直すこと／再興＝おとろえたものを再びさかんにすること	再考
57	「犬は人間よりも鼻がよくキく」 利く＝十分にはたらく（鼻が利く・気が利く）／効く＝ききめがある	利く
58	「お正月に、いなかへキセイする」 帰省＝ふるさとに帰ること／規制＝決まりで制限すること／既製＝前もって作ってあること	帰省
59	「雲一つないカイセイの空」 快晴＝空がよく晴れていること／改正＝決まりなどを改めること	快晴
60	「祖父はキショウのはげしい人だ」 気性＝生まれつきの性質／気象＝天気などの大気のような	気性

61	「山に入った登山者が消息をタツ」 絶つ＝続いていたものを終わらせる（消息を絶つ）／断つ＝切りはなす（退路を断つ）	絶つ
62	「アツい辞書を開く」 厚い＝はばが大きい／熱い＝温度が高い（さわって感じる）／暑い＝気温が高い	厚い
63	「体育館でキカイ体操の練習をする」 器械＝道具や、しくみのかんたんな装置（器械体操）／機械＝動力で動くしくみ	器械
64	「またとないキカイをのがした」 機会＝物事をするのにちょうどよいとき／機械＝動力で動くしかけ	機会
65	「エイセイ中立を宣言した国」 永世＝限りなく長い年月（永世中立国）／衛生＝健康に気をつけること	永世
66	「この時計には一年間のホショウがついている」 保証＝まちがいないと請け合う／保障＝地位や権利を守る／補償＝損害をうめ合わせる	保証
67	「父の趣味は切手のシュウシュウだ」 収集＝物を集めること／收拾＝混乱をおさめること	収集
68	「その話は、町の人にはシュウチの事実だ」 周知＝広く知れわたっていること／衆知＝多くの人の知恵	周知
69	「主役の少年が、むずかしい役をコウエンした」 好演＝上手に演じること／公演＝人々の前で劇や音楽を行うこと／講演＝大勢の前で話すこと	好演
70	「小学生をタイショウにした調査」 対象＝はたらきかける相手／対照＝くらべ合わせる／対称＝つり合っていること	対象
71	「十年後の自分の姿をソウゾウする」 想像＝頭の中で思いうかべること／創造＝新しいものを初めてつくり出すこと	想像
72	「イガイな結末におどろいた」 意外＝思いがけないこと／以外＝それをのぞいたほか	意外
73	「学級委員が委員会をショウシュウする」 招集＝人を招き集めること（会議を招集する）／召集＝国会や兵を呼び集めること	招集
74	「学級委員に山田さんをオス」 推す＝人や物をすすめる・推薦する／押す＝力を加えて動かす	推す
75	「多くの人のシジを得て当選した」 支持＝考えなどに賛成して、後おしすること／指示＝指図すること	支持
76	「世界の平和を心からノゾむ」 望む＝ねがう・遠くを見る／臨む＝その場に出る・向かい合う	望む
77	「キカン限定の大売り出し」 期間＝ある時から別の時までの間／機関＝組織や仕組み	期間
78	「作文の Kousei を考えてから書く」 構成＝いくつかのものを組み立てること／校正＝文字のまちがいを直す／公正＝かたよがない	構成
79	「会社のキコウを改める」 機構＝しくみ・組織／気候＝その土地の天気のようにす	機構
80	「日本はおおむね温暖なキコウだ」 気候＝その土地の長い期間の天気のようにす／紀行＝旅の記録／寄港＝船が港に立ち寄ること	気候

81	「たまっていた借金をすべてセイサンした」 清算＝貸し借りなどを整理して、けりをつける／精算＝細かく計算する	清算
82	「図書館に本の在庫をショウカイする」 照会＝問い合わせで確かめること／紹介＝引き合わせること	照会
83	「二つの本の文章のイドウを調べる」 異同＝ちがっているところ／移動＝場所が変わること／異動＝職場での地位などが変わること	異同
84	「今年の夏はイジョウな暑さだ」 異常＝ふつうとちがっていること／異状＝ふだんとちがったようす（異状なし）	異常
85	「その決定にイギを申し立てる」 異議＝反対の意見／意義＝意味やなうち／異義＝ちがう意味	異議
86	「北海道を旅したキコウ文を書く」 紀行＝旅の見聞を書きしるしたもの／気候＝天気のようなうす	紀行
87	「シュウセイ忘れられない思い出」 終生＝死ぬまで・一生／修正＝直すこと	終生
88	「新しい技術をシュウトクする」 習得＝習って身につけること／拾得＝落とし物を拾うこと	習得
89	「おとろえた家を、再びオコす」 興す＝おとろえたものを再びさかんにする。新しく始めて、さかんにする（家を興す・産業を興す）／起こす＝立たせる・始める	興す
90	「人質を全員カイホウする」 解放＝ときはなして自由にする／開放＝開けはなす・自由に出入りさせる	解放
91	「大学の先生のコウエンを聞く」 講演＝大勢の前で、ある題について話をする／公演＝劇などを演じること	講演
92	「失敗の責任をツイキウする」 追及＝責任や悪事などを、どこまでも問いつめる／追究＝明らかにしようとする	追及
93	「兄はシュウカンの雑誌を読んでいる」 週刊＝週に一回発行すること／週間＝七日間	週刊
94	「亡くなった父のイシをついで店を守る」 遺志＝亡くなった人が生前にもっていた願い／意志＝やりとげようとする心	遺志
95	「雨で、遠足が一週間ノびる」 延びる＝時間や長さが長くなる・先になる／伸びる＝まっすぐ長くなる・成長する	延びる
96	「鏡を見て服装をトトノえる」 整える＝乱れたものをきちんとする（服装を整える）／調える＝必要なものをそろえる・ちょうどよくする（味を調える）	整える
97	「夜がアけると、鳥が鳴き始めた」 明ける＝夜や期間が終わる／開ける＝閉じているものをひらく／空ける＝中をからにする	明ける
98	「赤い屋根が青空にハえる」 映える＝光に照らされて美しく見える・引き立つ／生える＝草や毛などが出てくる	映える
99	「アタタかい春の日ざし」 暖かい＝気温がほどよく高い（暖かい部屋）／温かい＝物や心のあたたかさ（温かいスープ）	暖かい
100	「画びょうで、紙がかべにしっかりトまる」 留まる＝固定されて動かない・とどまる（ピンで留まる）／止まる＝動きがなくなる／泊まる＝宿にとまる	留まる

101	「お年寄りのために席をアける」 空ける＝場所をからにする・時間をつくる／開ける＝ひらく	空ける
102	「今年の夏はとてもアツい」 暑い＝気温が高い／熱い＝物の温度が高い	暑い
103	「毎朝、キショウ情報を確かめる」 気象＝天気など大気のようす／気性＝生まれつきの性質	気象
104	「村の人口がゲンショウする」 減少＝へって少なくなる／現象＝目に見える形で表れる物事	減少
105	「ふしぎな自然ゲンショウを観察する」 現象＝目に見える形で表れる物事／減少＝へること	現象
106	「環境問題にカンシンを持つ」 関心＝興味を持って心を向けること／感心＝りっぱだと心を動かされること	関心
107	「九十さいの祖母は、今もケンザイだ」 健在＝元気でくらしていること・十分に役目を果たしていること／建材＝建物の材料	健在
108	「おこづかいのシュウシを帳面に記録する」 収支＝入るお金と出るお金／終始＝始めから終わりまで	収支
109	「キョクチ的な大雨が降った」 局地＝限られた一部の地域／極地＝地球の南北のはて／極致＝この上ないところ	局地
110	「ケンザイ店で木材を買う」 建材＝建物を作る材料／健在＝元気でいること	建材
111	「国会で法律をカイセイする」 改正＝決まりなどを改めて、よくすること／快晴＝よく晴れていること	改正
112	「キセイの考えにとらわれない」 既成＝すでにできあがっていて、世の中に認められていること／既製＝前もって作ってある品	既成
113	「冬は日がしずむのがハヤい」 早い＝時期や時刻が前だ（朝が早い）／速い＝スピードがある	早い
114	「弟は、朝からキゲンが悪い」 機嫌＝気分のよしあし／期限＝決められた終わりの時／起源＝物事の始まり	機嫌
115	「巻き尺で校庭の広さをハカル」 測る＝長さ・深さ・広さ・高さなどを調べる／計る＝時間や数	測る
116	「雲の間から月が姿をアラワす」 現す＝かくれていたものが見えるようになる／表す＝気持ちなどを外に示す／著す＝本を書いて世に出す	現す
117	「家族で旅行のヨウイをする」 用意＝前もって準備すること／容易＝たやすいこと	用意
118	「こわれたいすの足をナオす」 直す＝こわれた物や悪いところを、もとのよい状態にする／治す＝病気やけがをよくする	直す
119	「話し合いはシュウシ、なごやかに進んだ」 終始＝始めから終わりまで／収支＝収入と支出	終始
120	「感謝の気持ちを言葉にアラワす」 表す＝考えや気持ちを、ことばや形で外に示す／現す＝見えるようになる	表す

121	「近所の人たちとシンコウを結ぶ」 親交＝親しいつきあい／進行＝進んでいくこと／信仰＝神や仏を信じること	親交
122	「水そうの金魚をカンショウする」 観賞＝花や魚などの美しさを見て楽しむこと／鑑賞＝芸術作品を味わうこと	観賞
123	「約束をやぶったことを、弟にアヤマる」 謝る＝あやまちをわびる／誤る＝まちがえる	謝る
124	「馬は走るのがとてもハヤい」 速い＝スピードがある／早い＝時期や時刻が前だ	速い
125	「体重計で体重をハかる」 量る＝重さやかさ／計る＝時間や数／測る＝長さ・深さ・広さ・高さ／図る＝くわだてる・努める	量る
126	「火事のときはヒジョウ口から外に出る」 非常＝ふつうでないこと・ひどく（非常口）／非情＝思いやりがないこと	非常
127	「駅で友だちとワかれる」 別れる＝いっしょにいた人とはなれる／分かれる＝一つのものがいくつかになる	別れる
128	「アタタかいみそしるを飲む」 温かい＝物や心があたたかい（温かい料理）／暖かい＝気温や部屋があたたかい	温かい
129	「この先で、道が二つにワかれる」 分かれる＝一つのものがいくつかになる／別れる＝人とはなれる	分かれる
130	「先生が書いた字を、そのまま紙にウツす」 写す＝そのとおりに書く・写真にとる／映す＝鏡や画面に姿をあらわす／移す＝場所をかえる	写す
131	「工場のキカイが一日中動いている」 機械＝動力で動いて仕事をする大きなしかけ／機会＝ちょうどよいとき	機械
132	「アツいお茶をゆっくり飲む」 熱い＝物の温度が高い／暑い＝気温が高い	熱い
133	「机をとりの教室にウツす」 移す＝場所や位置をかえる／写す＝書き写す／映す＝鏡などに姿をあらわす	移す
134	「月は地球のエイセイだ」 衛星＝惑星のまわりを回る天体・人工衛星／衛生＝健康を守ること	衛星
135	「となりの空き地に家をタてる」 建てる＝建物などをつくる／立てる＝まっすぐに起こす・計画などを作る	建てる
136	「夏休みの計画をタてる」 立てる＝まっすぐに起こす・計画などを作る／建てる＝建物をつくる	立てる
137	「先生の指導のモトで研究する」 下＝…のえいきょうがおよぶ所（指導の下）／元＝はじめ・原因／基＝土台	下
138	「火のモトに気をつける」 元＝物事の起こり・原因（火の元）／基＝土台／下＝…のえいきょうがおよぶ所	元
139	「集めた資料をモトにして発表する」 基＝物事の土台・よりどころ（資料を基にする）／元＝はじめ・原因／下＝…のもと	基
140	「はがきのオモテに住所を書く」 表＝外から見える側（紙の表）／面＝顔・物の表面（湖の面）	表

141	「オモテを上げて、前を見なさい」 面＝顔（面を上げる）。物の表面（湖の面）／表＝外から見える側	面
142	「さけが、海から川をノボる」 上る＝下から上へ・川の上流へ進む（川を上る）／登る＝高い所へ自分の足で行く（山に登る）／昇る＝空高くあがる（日が昇る）	上る
143	「はかまのすそにどろがつく」 付く＝くっつく／着く＝到着する／就く＝役目にはいる	付く
144	「関係者イガイは立ち入り禁止」 以外＝それをのぞいたほか／意外＝思いがけないこと	以外
145	「明日は雨が降るとカテイして計画を立てる」 仮定＝かりにそうだと決めること／過程＝物事が進んでいく道すじ	仮定
146	「駅の改札口で友だちにアう」 会う＝人と顔を合わせる／合う＝ぴったりする／遭う＝よくないことにあう	会う
147	「紙ねんどで人形をツくる」 作る＝形のあるものをこしらえる（料理・人形）／造る＝大きなものを組み立てる（船・建物・酒）	作る
148	「自分にあたえられたシメイを果たす」 使命＝あたえられた大切な役目／指名＝名前を指して選ぶこと	使命
149	「具合が悪くなってホケン室で休む」 保健＝健康を守ること（保健室）／保険＝事故などにそなえてお金を積み立てるしくみ	保健
150	「家の火災ホケンに入る」 保険＝事故や病気にそなえて、お金を積み立てるしくみ／保健＝健康を守ること	保険
151	「計画を少しシュウセイする」 修正＝まちがいなどを正しく直すこと／習性＝決まった性質	修正
152	「夏の暑さで野菜がイタむ」 傷む＝きずがつく・くさる／痛む＝体がいたい／悼む＝人の死を悲しむ	傷む
153	「審判はコウセイな判断をした」 公正＝かたよりがなく正しいこと／構成＝組み立て	公正
154	「たなの上の本に手をのばしてトる」 取る＝手に持つ。自分のものにする／採る＝選んで集める／撮る＝写真をうつす	取る
155	「天皇が国会をショウシュウする」 召集＝国会や兵を呼び集めること／招集＝会議のために人を呼び集めること	召集
156	「計算がぴたりとアう」 合う＝一つになる・ぴったりする／会う＝人と顔を合わせる	合う
157	「問題を解決するメイアンがうかぶ」 名案＝すぐれた考え／明暗＝明るさと暗さ・幸せと不幸	名案
158	「人として正しいヨい行いをする」 善い＝道徳的に正しい（善い行い）／良い＝すぐれている・好ましい（品質が良い）	善い
159	「こまのマワりが速くなる」 回り＝回ること・順番・あたり（身の回り）／周り＝周囲	回り
160	「市役所から問い合わせへのカイトウが届いた」 回答＝質問や問い合わせに答えること／解答＝問題をといて答えを出すこと	回答

161	「運転手の不注意にヨる事故」 因る＝原因となる（不注意に因る事故）／寄る＝近づく・立ち寄る	因る
162	「話し合いで問題の解決をハカる」 図る＝くわだてる・そうなるように努める／測る＝長さなどを調べる	図る
163	「自分の考えを最後までコジする」 固持＝かたく持ち続けて、変えないこと／固辞＝かたくことわること	固持
164	「休日は、カテイで家族とすごす」 家庭＝家族がいっしょに暮らす所／課程＝学校で学ぶ内容の順序	家庭
165	「学校の帰りに本屋にヨる」 寄る＝近づく・とちゅうで立ち寄る／因る＝原因となる	寄る
166	「森林が次々に失われ、カンシンにたえない」 寒心＝おそろしくて、ぞっとすること（寒心にたえない）／関心＝興味をもつこと	寒心
167	「左右タイショウの図形をかく」 対称＝中心や線をはさんでつり合っていること／対照＝くらべ合わせること	対称
168	「兄は春から教師の仕事にツク」 就く＝ある地位や仕事につく／着く＝到着する・すわる／付く＝くっつく	就く
169	「雨が降ってきたので、かさをサす」 差す＝かさなどをかざす・光が入る／指す＝指などで示す	差す
170	「キショウな動物を保護する」 希少＝とても少なく、めずらしいこと／気象＝大気のような	希少
171	「日が暮れたので家にカエル」 帰る＝もといた所にもどる（家に帰る）／返る＝もとの状態にもどる（われに返る）	帰る
172	「漁を終えた船が、出発した港にキコウする」 帰港＝船が出発した港に帰ること／寄港＝とちゅうで港に立ち寄ること	帰港
173	「駅前に新しい図書館がタつ」 建つ＝建物ができる／立つ＝まっすぐおきる／断つ＝切りはなす／絶つ＝終わらせる	建つ
174	「すぐれた作品をコウセイに伝える」 後世＝のちの時代（後世に伝える）／後生＝あとから生まれた人	後世
175	「コウセイおそるべし」 後生＝あとから生まれた人・後輩（後生おそるべし＝若い人は大きくのびる力をもっているの、おそれうやまうべきだ）／後世＝のちの時代	後生
176	「電車に乗りおくれないう、ヒッシに走った」 必死＝死にものぐるいで力をつくすこと／必至＝必ずそうなること	必死
177	「最後までやりぬくイシの強い人」 意志＝物事をやりとげようとする強い心／意思＝考えや思い／遺志＝亡くなった人の生前の願い	意志
178	「手をあげて、賛成するというイシを表す」 意思＝考え・思い（意思表示）／意志＝やりとげようとする強い心（意志が強い）	意思
179	「この活動には大きなイギがある」 意義＝そのことがもつ意味やねうち／異議＝反対の意見	意義
180	「この計画にはセイサンがある」 成算＝うまくいく見こみ／精算＝お金を細かく計算すること	成算

181	「子どもがすすくとセイチョウする」 成長＝人や動物が育って大きくなること／生長＝植物が育つこと	成長
182	「父はショヨウで出かけている」 所用＝用事（所用で出かける）／所要＝必要とすること（所要時間）	所用
183	「駅までのショヨウ時間を調べる」 所要＝必要とすること（所要時間）／所用＝用事	所要
184	「かなづちでくぎをうつ」 打つ＝たたく／討つ＝敵をせめほろぼす／撃つ＝鉄砲などをうつ	打つ
185	「色紙で鶴をオる」 折る＝曲げて重ねる・曲げて切りはなす／織る＝布をつくる	折る
186	「故障した車を後ろからオす」 押す＝力を加えて前へ動かす／推す＝人や物をすすめる	押す
187	「駅でシュウトクした財布を交番に届ける」 拾得＝落とし物を拾うこと／習得＝習って身につけること	拾得
188	「方位磁針の針が北をサす」 指す＝指などで方向や物を示す／差す＝かざす・光が入る	指す
189	「先生に発表者としてシメイされる」 指名＝名前を指して選ぶこと／使命＝あたえられた役目	指名
190	「先生のシジにしたがって行動する」 指示＝指図すること／支持＝賛成して後おしすること／師事＝先生として教えを受けること	指示
191	「梅の木に、別の品種の枝をツぐ」 接ぐ＝つなぎ合わせる（つぎ木をする）／次ぐ＝すぐあとに続く／継ぐ＝あとを受けつぐ	接ぐ
192	「悪人がカイシンして、まじめに働き始めた」 改心＝悪い心を改めること／会心＝思いどおりで満足すること	改心
193	「敵のにげ道をタつ作戦」 断つ＝切りはなす・やめる（退路を断つ）／絶つ＝続いていたものを終わらせる	断つ
194	「東の空に朝日がノボる」 昇る＝空高くあがる（日が昇る）／登る＝高い所へ自分で行く（山に登る）	昇る
195	「最後の一点の差がメインを分けた」 明暗＝明るさと暗さ。幸せと不幸・勝ち負け／名案＝すぐれた考え	明暗
196	「琵琶湖は日本でサイダイの湖だ」 最大＝いちばん大きいこと／細大＝細かいことと大きいこと（細大もらず）	最大
197	「列のサイゴにならぶ」 最後＝いちばん終わり／最期＝死にぎわ	最後
198	「祖父は家族にみとられて、静かにサイゴをむかえた」 最期＝死にぎわ（最期をむかえる）／最後＝いちばん終わり	最期
199	「印刷する前に原稿をコウセイする」 校正＝印刷物の文字のまちがいを調べて直す／構成＝組み立て	校正
200	「話がよいよカクシンにふれる」 核心＝物事の中心となる大切な所／確信＝かたく信じること	核心